

図書館だより

11月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	③
4	⑤	6	7	8	9	10
11	⑫	⑬	14	15	16	17
18	⑱	20	21	22	⑳	24
25	⑳	27	⑳	29	⑳	30

○印 休館日  
月曜日・祝日・振替休日(3、13、23日)  
臨時休館日(28日)月末館内整理日(30日)

しぐれて

人が海を見てゐる

山頭火

昭和十四年山頭火五十八歳の、十一月三日の句。行乞しなごら四国遍路途次の作。

◆ 今月中の新刊案内

♥ 一般図書

- 「心の書」を読む 朝日新聞社
- ロスタイルド自伝 新潮社
- ドイツ民主共和国 本多勝一
- 東と西 司馬遼太郎
- 「世襲」代議士の研究 市川太一
- 佃畑裏小屋手作り絵日記 大塚誠
- 中島らものさらに明るい悩み
- 男と女の老友学 樋口恵子
- 服が好き 久米麗子
- おとぎ話のセーターE・キャロル
- ヘルシーなパンとマフィン
- 村上昭子の旬感野菜料理
- 病気の早期発見対策大事典
- 行ってみたい遠くの小さな美術館
- ビートルズ全曲解説T・ライリ
- 愛こそがすべて 柴門ふみ
- ヘルンと私 小泉時

今を深く生きるために

- 百合の心 中野孝次
- ことばの国 辻原登
- 人間の十字架 清水義範
- 柳生刑部秘剣行 森村誠一
- 密告の正午 赤川次郎
- 風を探して 森 遙子
- 千姫様 平岩弓枝
- ベラウの生と死 澤地久枝
- 静かな生活 大江健三郎
- 東州斎写楽はもういない

佐々木幹雄

- 砂のアラベスク 泡坂妻夫
- グウンタウン エド・マクベイン
- 青い犬の目 ガルシア・マルケス
- ある少年の物語 E・ホワイト
- わが友サルトル・ボーヴォワール
- 朝吹登水子

外一三〇冊



♥ 児童図書

- 巨大地震が来る!
- 恐竜大絶滅の謎
- あみもの基礎シリーズ 全5巻
- 植村直己 大自然にいだむ
- しんぶんしでつくろう
- かみコップでつくろう
- 赤いくつをはいた女の子
- ぼくへそまでまんが

母さん、愛ってなに  
つよいぞかばのふとし  
なぞなぞアルファベット  
やどかりのおひっこし  
かいじゅうパパ  
外四十六冊

第四回

図書館じゅもまつり

市立図書館では、児童が本に親しむ機会をつくることを目的として、第四回図書館じゅもまつりを開催します。

日時 11月17日(土)

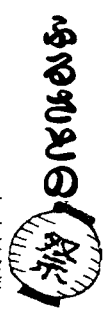
午後2時～4時30分

場所 文化会館4階大ホール

参加者 幼児・小学生とその父母

内容 人形劇、本の読みかせ、工作ほか

※ 申し込み方法、その他詳細は、保育園、幼稚園、学校を通じてお知らせします。



11月2日～4日 市文化祭 (文化会館他)

2日～5日 桂川祭 (都留文科大学)

3日 農業まつり (農協会館)

15日 七五三

25日 天神講 (市内各地)

12月1日 高尾山例祭 (高尾町)

子どもの心シリーズ 17

思春期



幼稚園、保育園の子どもの童顔から三十年後の成人の顔を想像することは難しいことです。しかし、思春期の少年や青年の顔から成人の顔を想像することは、そう難しくないとはいわれません。それは年齢のせいではなく、思春期が人間の一生にとって一番苦しい時であり、生き方の決定する時であるからです。

思春期には、自分で解決しなければならぬ、いろいろな問題がたくさんあります。例えば、進路の問題、つまり就職か進学か、中学生ならどの高校を選ぶか、高校生ならば就職か大学か、専門学校かという選択をしなければなりません。この選択は苦しい選択なのです。この問題の外に思想上の問題もあります。また配偶者の選択もあります。さらに宗教上のこともあります。これ等の問題を一生懸命考え苦しんで行くことによつて青年は成長していくのです。この苦しみをさせないように、親がすべて仕切ってしまうと、苦勞しらすの、のんきな成人になつてしまふといえます。しかし親から見ると、社会的な経験の浅い青年にまかせられるのですから、非常に危なく見えるし、心配にもなるのです。でも自分で決定したことは責任をもつようにもなります。もし間違つても、やりかえしができるのも青年の特徴です。

しかし、この重圧に耐えかねて、神経症のような状態になったり、家出をしたり、軽くても家庭内で反抗したりするものです。それを遠くから見守り、必要な時には援助と助言が必要なのです。

十五歳頃から二十三歳頃までの自殺率は高いといえます。このような前の苦しむ少年や青年に適切な助言と援助が必要です。それには子どもを遠くから見守り、まかせながらも助言と援助のできるような親子関係をつくっておくことです。それは信頼される親であることです。

将来の目標をもち、それが実現できるか、できないかは別としてそれに努力する青年はたくさんいます。過保護で、自分で先の決定もできないで、抱負も希望もななくぼんやりと毎日を過ごしている子ほど問題を後に残します。

教育相談室 ☎43-1111

内線 216